

献立ひとくちメモ

6月23日(火)



今日は紫陽花（あじさい）のお話です。紫陽花の語源は諸説がありますが、藍色が集まったという意味の「集真藍（あづさあい／あづさい）」がなまったという説が有力とされています。紫陽花は古くから親しまれており、日本最古の和歌集『万葉集』、平安時代の辞書『和名類聚抄（わみょうるいじゅしょう）』にも登場しています。

紫陽花はもともと日本固有の植物でしたが、とある西洋人がお土産として持ち帰ったことで世界中に親しまれるようになりました。そして、品種改良を経て日本に逆輸入されるようになりました。西洋の土はアルカリ性の土壌なので赤系が多く、日本は火山地帯で雨も多く弱酸性の土壌が多いため、青色や紫色が主流です。